

NEWS RELEASE

三菱 IH クッキングヒーター「レンジグリル IH」新製品発売
「電子レンジ」機能に加え IoT 機能を新搭載し、利便性を向上



IH クッキングヒーター「レンジグリル IH」RE-322SXR

三菱電機株式会社は、「電子レンジ」機能を搭載した IH クッキングヒーター「レンジグリル IH」に、新たに IoT 機能を搭載した新製品を 6 月 21 日に発売します。音声操作や独自の家電統合アプリケーション「MyMU（マイエムユー）」（以下、アプリ）との連携により、家庭での調理における利便性を向上します。

昨今、共働きで調理時間が十分にとれない家庭が増えている中、在宅勤務時の食事には「手軽・便利」（女性：37.8%、男性：39.3%）が最も求められており*1、加工食品や家庭用冷凍食品の需要が拡大*2し、それに伴い電子レンジの使用頻度も高まっています。また、調理家電には調理の負荷軽減が求められている中、当社の調査*3では、IH クッキングヒーターの機能を活用し、手軽に調理したいという声が多い一方で、操作が複雑と感じている方もいることがわかりました。

当社は、2020 年 12 月に業界で初めて*4「電子レンジ」機能を搭載した「レンジグリル IH」を発売し、調理の負荷軽減に貢献してきました。今回、さらなる利便性向上に向けて、IoT 機能を搭載した新製品を発売します。「スマートスピーカー*5」を使用した音声操作やアプリと連携した操作を実現し、使用頻度が高い「電子レンジ」機能と「レンジグリル加熱」機能などをより簡単に操作でき、家庭での調理における利便性を向上します。

※1 出典：[令和 3 年“冷凍食品の利用状況”実態調査について | 一般社団法人 日本冷凍食品協会 \(reishokukyo.or.jp\)](https://www.reishokukyo.or.jp/)

※2 出典：[用途別国内生産量推移 | 統計資料 | 一般社団法人 日本冷凍食品協会 \(reishokukyo.or.jp\)](https://www.reishokukyo.or.jp/)

※3 [調査対象者] 一般ユーザー134名 [調査期間] 2022年1月 [調査方法] 当社アンケート

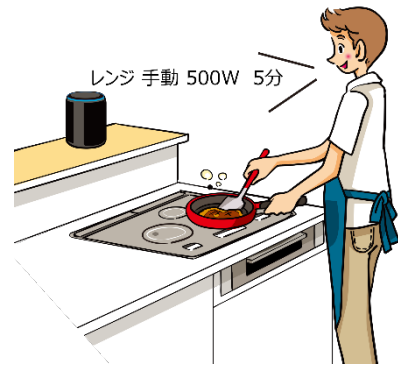
※4 2020年12月1日時点（旧形名 RE-320SR、RE-220SR 発売時 国内家庭用ビルトイン型 IH クッキングヒーターにおいて）

※5 Amazon Alexa 対応端末を使用。Amazon、Alexa および、関連するすべてのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です

新製品の特長

1. 音声操作およびアプリと連携した操作で調理の負担を軽減

- ・スマートスピーカーを使用した音声操作で加熱の設定※6が可能。複雑な設定もスマートスピーカーの質問に答えることで設定の手間を従来比約3分の1に軽減※7。また、食材の準備中など※8に加熱設定の送信ができるほか、手元が見えづらい高齢者による調理もサポート
- ・アプリでレシピを検索し選択することで、調理手順通りの加熱設定をIHクッキングヒーターに送信※9でき、調理の手間を軽減
- ・「いつもの加熱」としてよく使う操作をアプリに登録することで、複雑な設定を簡略化



(図1) 音声操作イメージ

- ※6 本体のボタンで音声モードを選択し、音声で加熱の設定を選択後、本体のボタンを選択し調理スタート
- ※7 右IH火力6、切タイマー15分を設定する場合。RE-322SXR：計3回（切/入ボタン長押し1回、発話1回、設定ボタン1回）2021年度製RE-321SR：計11回（切/入ボタン1回、設定ボタン3回、タイマーボタン1回、時間ボタン6回）
- ※8 調理中はIHのそばを離れないでください
- ※9 調理メニューの設定を送信後、本体のボタンを選択し調理スタート



(図2) レシピ画面操作イメージ



(図 3) 「いつもの加熱」登録操作イメージ

2. 肉解凍・野菜の下ゆでや食材の温めに便利な「電子レンジ」機能を搭載

- ・「電子レンジ」機能で仕上がりを選択することで、肉解凍や葉菜・根菜の下ゆでにおける火力や時間を「レンジグリル IH」が自動で調整。手早く熱を通すことで調理時間を短縮
 - ・-10℃から 90℃^{※10}の幅広い温度帯設定で食材の温めが可能
- ※10 24段階／-10℃～0℃（2℃刻み）、0℃～90℃（5℃刻み）



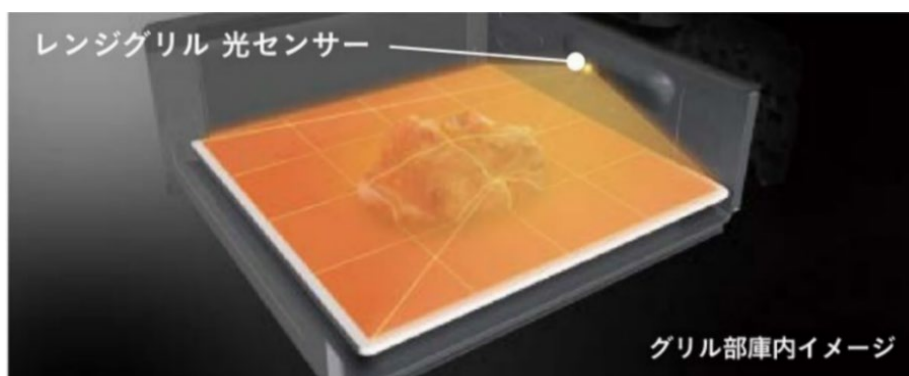
(図4) 「電子レンジ」機能の活用例

3. 「レンジグリル加熱」機能で自動調理

- ・食材を中と外から同時に加熱し、短時間で仕上げる「レンジグリル加熱」機能を搭載。IH ならではの 200V 電源による電子レンジ加熱とグリル部加熱の同時加熱で、食材の中まで熱の通った仕上げを実現
- ・庫内に赤外線センサー「レンジグリル光センサー」を搭載し、温度・時間・火力を自動調節。食品の温度をきめ細かく測定し、自動調理が可能
- ・「レンジ調理」機能で、冷凍保存した食材も、解凍しながら中までしっかり火を通し、焼き上げまで手早く自動調理
- ・再加熱専用メニューの「レンジ再加熱」機能で、冷めた総菜もレンジ加熱により中まで加熱しながら外側をグリル加熱し、できたてのような食感に焼き上げが可能



(図5) 「レンジグリル加熱」機能イメージ



(図6) 「レンジグリル光センサー」イメージ

その他の特長

1. 調理時間を短縮する「リレー調理」機能で本格調理

- ・「IH加熱」と「グリル部加熱」の連携調理において、時間・火力・温度を自動で制御し、調理の失敗を軽減。音声と液晶表示で難しい調理手順をサポート

2. 庫内は360°フラットな構造でお手入れが簡単

- ・グリル庫内はフラットヒーターを内蔵し、天井まで丸ごと拭けるフラットな構造
- ・グリル部調理の煙を軽減する構造で、庫内の清潔を維持

発売の概要

商品名	形名	価格(税抜き)	発売日	月産台数
三菱 IH クッキングヒーター 「レンジグリル IH」	RE-322SXR	490,000 円	6 月 21 日	1,000 台

製品仕様

形名		RE-322SXR
タイプ		3口IHタイプ
トッププレート幅		60cm
トッププレート色		クリスタルシルバー
本体色		クリアシルバー
電源		単相3線式200V(50-60Hz)
最大消費電力		5.7kW ^{※11}
ヒーター	左・右IH	3.2kW
	中央IH	1.5kW
	グリル	1.9kW
IH	高感度光センサー	左右IH
	リレー調理	○
	フライパン適温調理	左右IH:5段階(約140℃、160℃、180℃、200℃、220℃) ^{※12}
	揚げ物機能	左右IH:7段階(約140℃~200℃)
	保温機能	左右IH(80℃)
グリル	レンジグリル光センサー	○
	レンジグリル加熱	○
	レンジ加熱	500W、200W、100W(手動<相当>出力)
	オープン機能	20段階(30℃/40℃/80℃~250℃)
	調理メニュー	10メニュー(自動6メニュー、手動4メニュー)
	グリル庫内照明	扉を開けた時にLED点灯
	脱煙機能	煙抑制構造
IoT機能		○
外形寸法(幅×奥行×高さ)		600×559×238mm ^{※13}
質量		約27kg
庫内有効寸法(幅×奥行×高さ)		306×311×100mm

※11 合計消費電力を超える使用の場合は、自動的にヒーター火力を調整

※12 フライパン適温調理には、SGIH/SGCH・IHマークのあるフライパンを使用

※13 取っ手含まない奥行531mm

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号

TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機ホーム機器株式会社 営業部

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728番1号

TEL 048-584-7060